



MESSAGE NOTES

約束された休息

詩篇 127 篇 2 節

ブラウン・ジェームズ

あなたがたが早く起き遅く休み労苦の糧を食べたとしてもそれはむなし。実に主は愛する者に眠りを与えてくださる。詩篇 127 篇 2 節

1. 完全な守りの中

イザヤ書 52 章 12 節 あなたがたは慌てて出なくてもよい。逃げるように行らなくてもよい。主があながたの前を進み、イスラエルの神がしんがりとなられるからだ。

神様は私たちが適切な休息を取ることを望んでおられます。私たちを養い、守ってくださると約束してくださっているので、心配する必要はありません。私たちのためにあらかじめ用意されている良い行いに歩むように、それに必要な時間やエネルギーも必ず与えて下さいます。

2. 主の力で

イザヤ書 40 章 31 節 しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷺のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れない。

神様の力に頼ると、疲れることなく想定よりも多くのことを成し遂げることができます。確実にその力によって生きるには、万事、動機の確認が必要です。「主のために」が全てにまさる動機であれば、必要な力は必ず与えられます。

ガラテヤ人への手紙 1 章 10 節 今、私は人々に取り入ろうとしているのでしょうか。神に取り入ろうとしているのでしょうか。あるいは、人々を喜ばせようと努めているのでしょうか。もし今なお人々を喜ばせようとしているのなら、私はキリストのしもべではありません。

3. 最善、最良を行う

ルカの福音書 10 章 41-42 節 主は答えられた。「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことを思い煩つて、心を乱しています。しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはできません。」

自分に与えられた時間をイエス様と過ごすこと、それが私たちのベストを生みます。神様は私たちの心の中で、かすかに聞こえる小さな声を通して私たちに語られます。その声を聞くためには、ペースを落とし、他の雑音を遮断することが必要です。